

女性の職業的自立と 包括的キャリア教育・キャリア支援 —昭和女子大学の実践—

昭和女子大学 森ます美

シンポジウム：女性のキャリア教育・キャリア支援の最前線
2016年7月2日 昭和女子大学

昭和女子大学

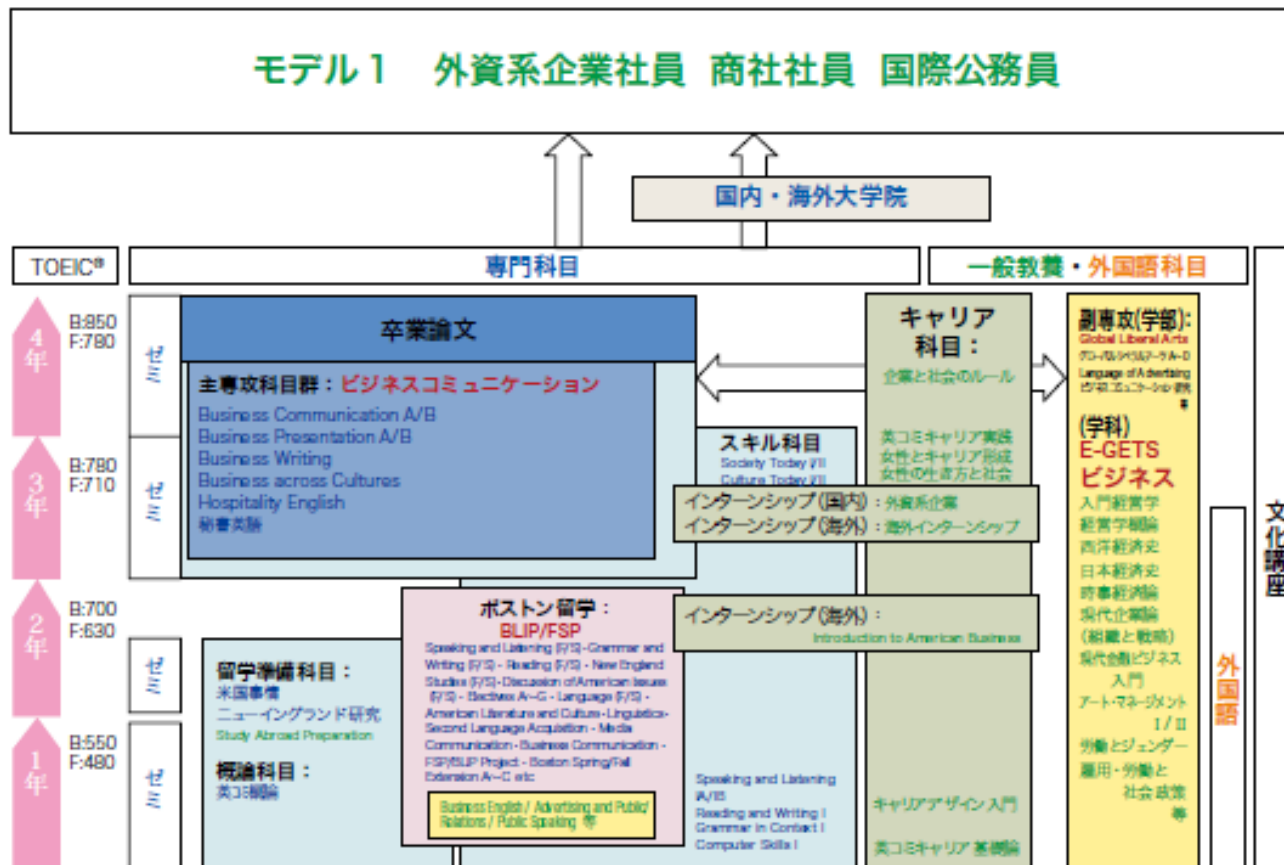
キャリアデザイン・ポリシー（社会的・職業的自立に関する方針）

1. 本学での学修と実践を通して、継続就業や再就業に係わる職業意識・職業観を磨き、長い生涯にわたる自分の生き方を設計するキャリアデザイン力を養う。
2. 学科の「キャリアデザイン・ポリシー」に基づき、「専門教育科目」を体系的に履修することによって、その特性を活かした職業・就業分野で社会的に自立できる職業人を育成する。
3. 国際的な視野と豊かな教養、職業上の倫理観を身につけ、自立した人間として21世紀の男女共同参画社会を担う人材を育成する。

<事例>

英語コミュニケーション学科のキャリアデザイン・ポリシーと 目指す職業と履修プログラム

1. 留学経験を通して、高い英語力と国際的な視野に基づくキャリア意識を有する人材を育成する。
2. 団体留学の経験を通して、自己や他者に対する深い理解力、洞察力を養い、他者と協働して、社会や組織の問題解決に役立つコミュニケーション力を備えた人材を育成する。
3. 英語を活かして活躍する職業人、卒業生、メンター等をロールモデルとして、英語に関連するビジネスフィールドに習熟した人材を育成する。



2016年度キャリア支援システム

	キャリア教育	キャリア支援プログラム	社会人メンター制度
目的	<ul style="list-style-type: none"> -キャリアをデザインする力を培う -多様な働き方を知り、ロールモデルに学ぶ -企業と社会のルールを学ぶ 	<ul style="list-style-type: none"> -自己理解をする -社会を学び、職業を理解する -就活スキルを身につける 	<ul style="list-style-type: none"> -多様な社会経験や職業経験をもち女性社会人に、人生設計や就職などについてアドバイスを受け、将来の指針とする
★ 2016年度キャリアコア科目			
4年生	<目標>卒業後の進路を確定し、目標をもって社会に巣立とう		メンターカフェ 個別メンタリング
	★企業と社会のルール 現代社会事情概説(女性記者の視点から) 現代女性の社会参加	<ul style="list-style-type: none"> -学内合同企業説明会 -SPI(就職筆記試験)対策 -個別面談・サポート -ライティングサポート -入社準備講座 -インターンシップ(単位認定可) 	
3年生	<目標>就活スキルを磨き、内定獲得に向けて行動しよう		メンターフテ
	★女性の生き方と社会(選択必修) ★女性とキャリア形成(選択必修) ★企業と社会のルール 現代社会事情概説(女性記者の視点から) 現代女性の社会参加 ボランティア論	<ul style="list-style-type: none"> -就職ガイダンス -採用選考対策講座(履歴書・ES対策他) -業界研究セミナー -仕事を知るシリーズ -学内合同企業説明会 -SPI能力一級常設模擬試験 -SPI(就職筆記試験)対策 -内定者報告会 -個別面談・サポート -ライティングサポート -インターンシップ(単位認定可) 	
2年生	<目標>ビジネスフィールドを知り、ロールモデルに学び、自己のキャリアデザインを描こう		学生が自分の関心のある業界や職業、あるいはフリーフィールドでメンターを探索し、希望するメンターと個別面談をする。一回の面談時間は約四十五分。登録している社会人メンターは約三〇〇人で、年齢は二〇代から七〇代まで。経験職業や職種は一〇〇種以上。海外勤務経験者も多い。 毎回テーマを設けて開催する。学生三〇人ほどが三人のメンターを囲み、お茶を飲みながら、テーマにまつたお話を聞いたり、会話を交わし、全体交流だけでなく少人数での相談もできる。夏季休暇などを除き、原則として月一回土曜の午後に約一時間半行う。 さまざまな経歴のメンター十〜十二人がテーブルに二人ずつつき、学生の相談に応じる。学生はあらかじめプロフィールをみてほしいメンターを探し、交流する。夏季休暇などを除き、原則として月二回開催する。開催時間は午前十一時四十五分から午後一時一五分まで。
	★女性の生き方と社会(選択必修) ★女性とキャリア形成(選択必修) 現代社会事情概説(女性記者の視点から) 現代女性の社会参加 ボランティア論	<ul style="list-style-type: none"> -SPI(就職筆記試験)対策 -仕事を知るシリーズ -業界研究セミナー -個別面談・サポート -ライティングサポート -インターンシップ(単位認定可) 	
1年生	<目標>就活の意義、キャリアデザインの重要性を学ぼう		
	★キャリアデザイン入門:必修 ボランティア論	<ul style="list-style-type: none"> -仕事を知るシリーズ -SPI(就職筆記試験)対策 -個別面談・サポート -ライティングサポート -インターンシップ(単位認定可) 	
問合せ先	総合教育センター		キャリア支援センター

キャリア教育の体系化

■2011年度よりキャリアコア科目を開設・2科目必修化

- ①「キャリアデザイン入門」（1年次後期・必修）
- ②「女性の生き方と社会」
「女性とキャリア形成」（2年次前／後期・1科目を選択必修）
- ③「企業と社会のルール」（3年次・4年次後期・選択）

■「女性の生き方と社会」「女性とキャリア形成」に含む講義内容

1. 現代の女性のライフコース・ライフスタイル・女性の意識
2. 女性の就業・女性の労働の現状
3. 女性(男性)の就業と生活を支える社会システム・法・制度
4. 今、求められる人材・就業力・キャリア形成と適職・職業選択
5. 社会人メンター制度を活用し、ロールモデルとしてメンターによる講義・パネルを取り入れる。

キャリア支援プログラム(就職活動支援)

■年間150以上の就職活動支援講座を開催

就職ガンダンス、就職活動準備講座、SPI試験対策講座、採用選考対策講座、仕事を知るシリーズ、業界研究セミナー、学内合同企業説明会

■学生一人ひとりへの個別支援を重視

個別面談 1回50分 2015年度実績：5,168件

ライティングサポート(ES・履歴書文章指導) 1回50分 同上 970件

■インターンシップの拡充

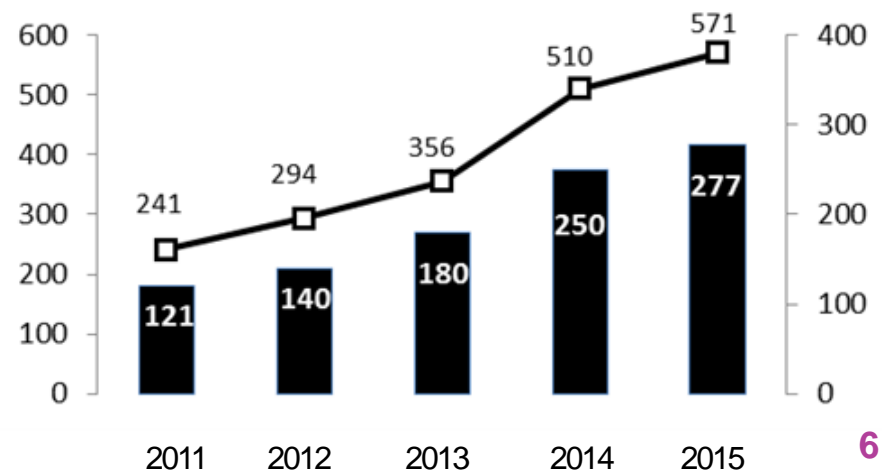
2002年度から開始

2005年度から単位認定

2015年度実績 277事業所

571人が参加

参加者数ならびに受入企業・団体数の推移



社会人メンター制度

■2011年度からスタート

■現在、約330人の女性メンターが登録
公募で選ばれた社会人女性

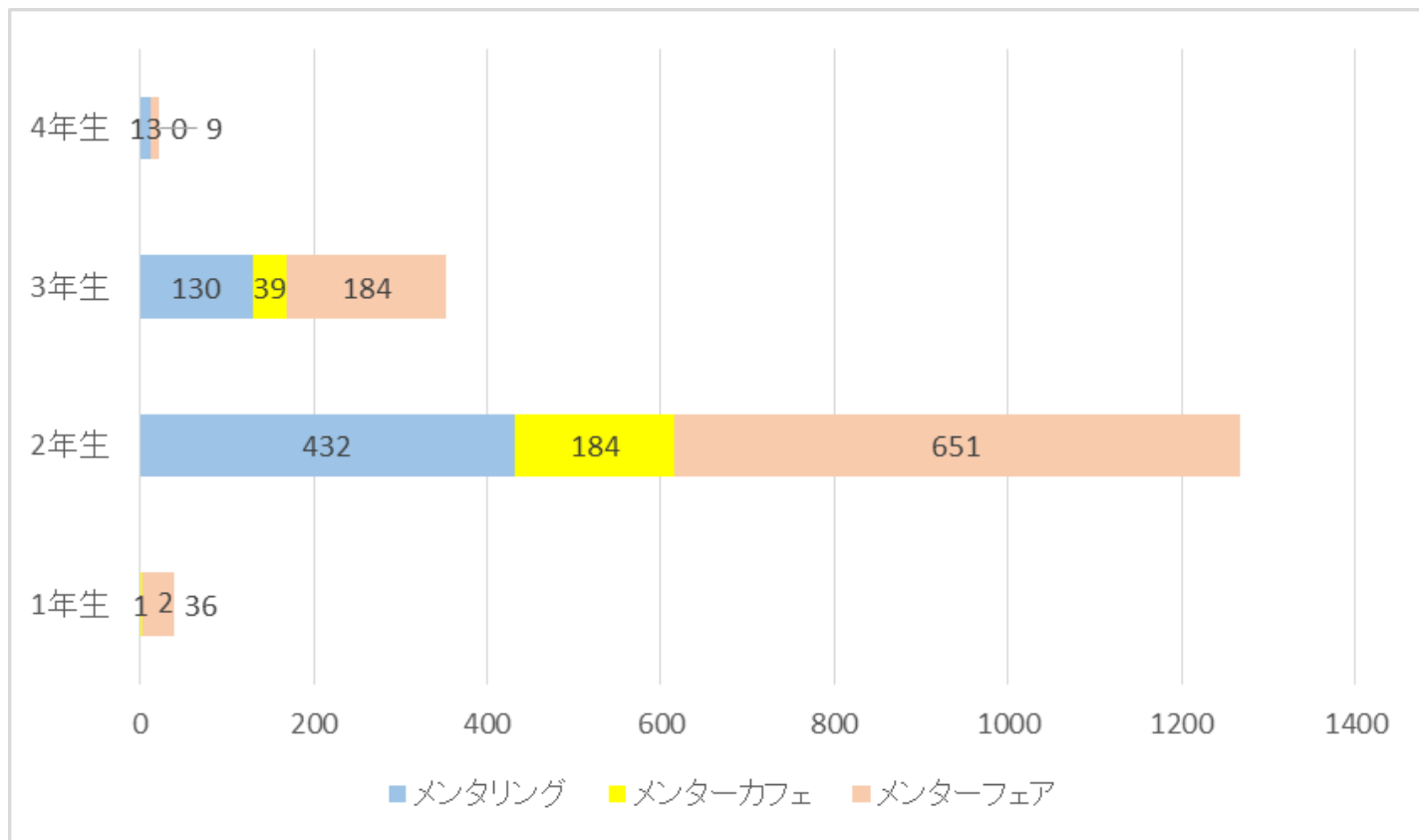
■学生とメンターが交流する3つのプログラム

個別メンタリング：学生がその都度希望のメンターを検索し
1対1で面談(1回 45分)

メンターカフェ：テーマを設定し学生30人程が3人のメンター
を囲みお茶を飲みながら懇談(月1回 90分)

メンターフェア：昼休みに学生ロビーでメンター10人程が各
テーブルで待機。学生は自由に懇談(月2回)

社会人メンター制度の利用状況—2015年度—



2015年度プログラムごとの参加学生延数 合計 1681人

個別メンタリング 576人, メンターカフェ 225人, メンターフェア 880人

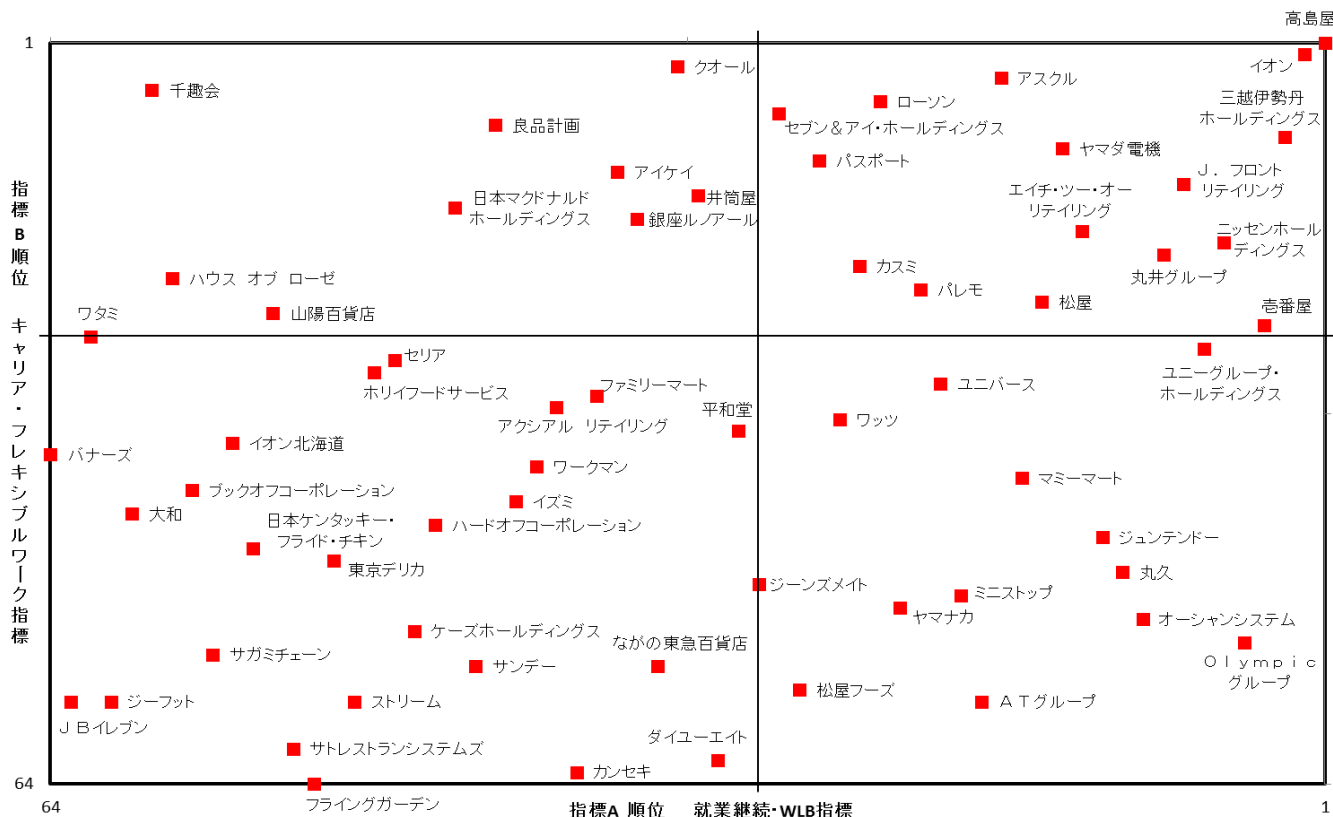


2年次キャリアコア科目と連携、メンター制度利用後、レポート提出で加点

「優良企業ランキング」の発表

- 「就業継続・WLB指標」(7項目)と「キャリア・フレキシブルワーク指標」(9項目)によって企業を評価 (女性文化研究所 企業評価チームが実施)
- 2013年11月～2016年1月までに5回に亘り、13業種を評価、「優良企業名」を公表
女子学生へのメッセージ ➡ 企業選びの視点・方法を知って欲しい!

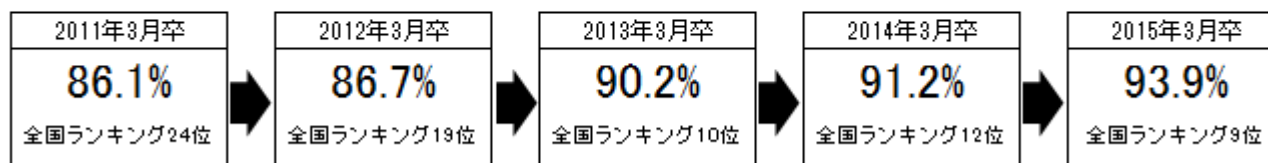
図1：2つの指標でみた小売業の企業ランキング —小売業64社—



昭和女子大学の就職率

「就職率2」5年連続女子大No.1！

※卒業生1,000人以上の女子大



※出典：『サンデー毎日』2015年7月26日号「全国240大学実就職率ランキング」

■2016年3月卒の就職実績

	就職率1		就職率2
	本学	全国私立大学 女子平均	本学
2012年3月卒	97.2%	91.7%	86.7%
2013年3月卒	98.2%	94.2%	90.2%
2014年3月卒	97.8%	94.4%	91.2%
2015年3月卒	98.7%	96.4%	93.9%
2016年3月卒	98.8%	96.4%	94.3%

就職率1 = 就職者数 ÷ 就職希望者数 × 100

就職率2 = 就職者数 ÷ {卒業(修了)者数 - 大学院進学者数} × 100

高い就職実績は学生たちのがんばり
& 包括的なキャリア教育・キャリア支援の成果か

女性の職業的自立と

ライフコース選択・キャリアデザイン

～昭和女子大学のキャリア教育・キャリア支援を検証する～

■ 包括的キャリア教育・キャリア支援

本学のキャリアコア科目を中心としたキャリア教育、就職活動支援を主目的とするキャリア支援プログラム、生きた経験から人生の選択肢を学ぶ社会人メンター制度が有機的に連携しながら、初職を起点として学生個々人の社会的・職業的自立に結実していく体系の総体を指している。

■ 昭和女子大生の「職業的自立」への指向

 「ライフコース選択」と「キャリアデザイン」から探る

昭和女子大生の「ライフコース選択」

■ 同年代未婚女性に比べ「両立コース」の比率がかなり高い

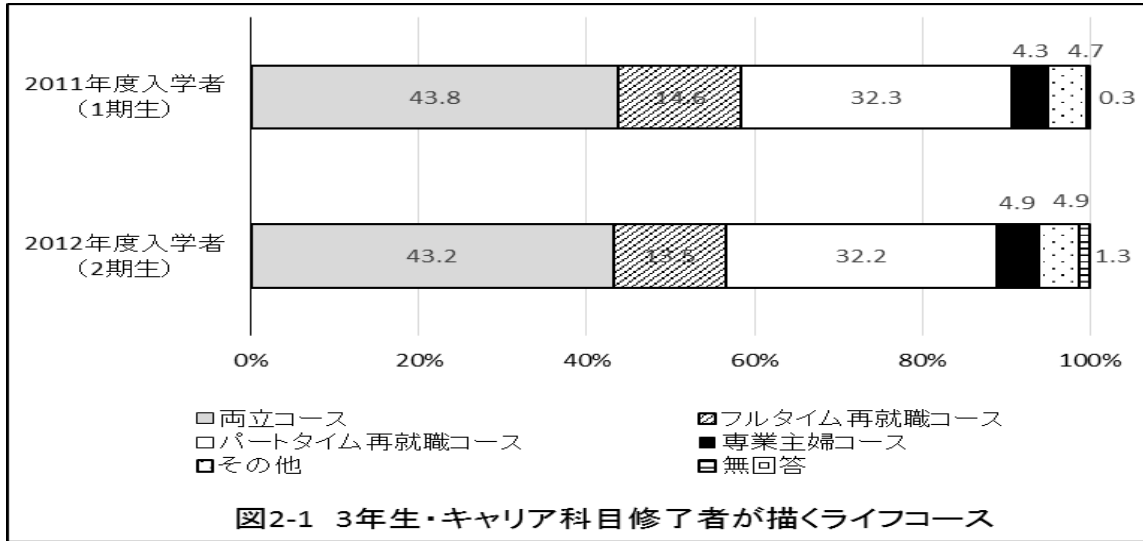


図2-1 3年生・キャリア科目修了者が描くライフコース

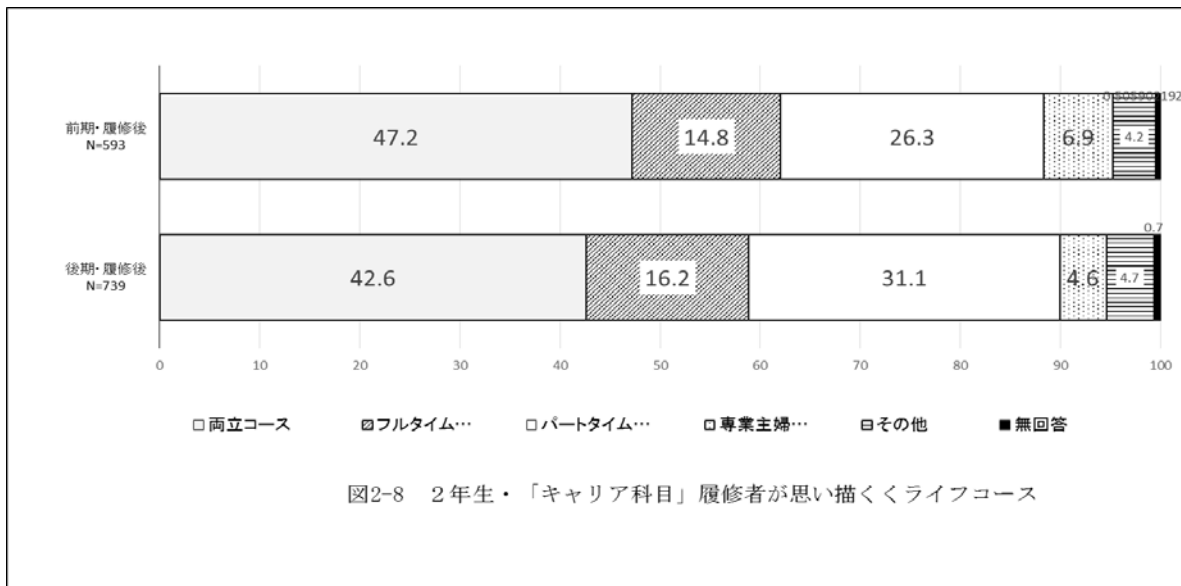
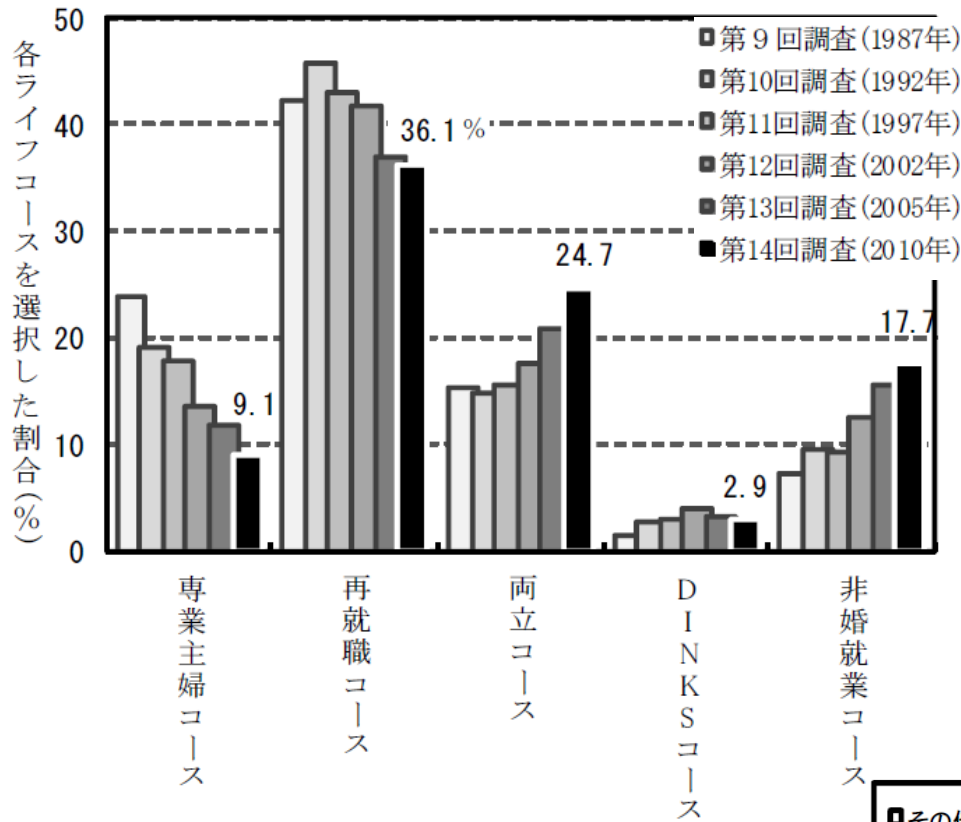


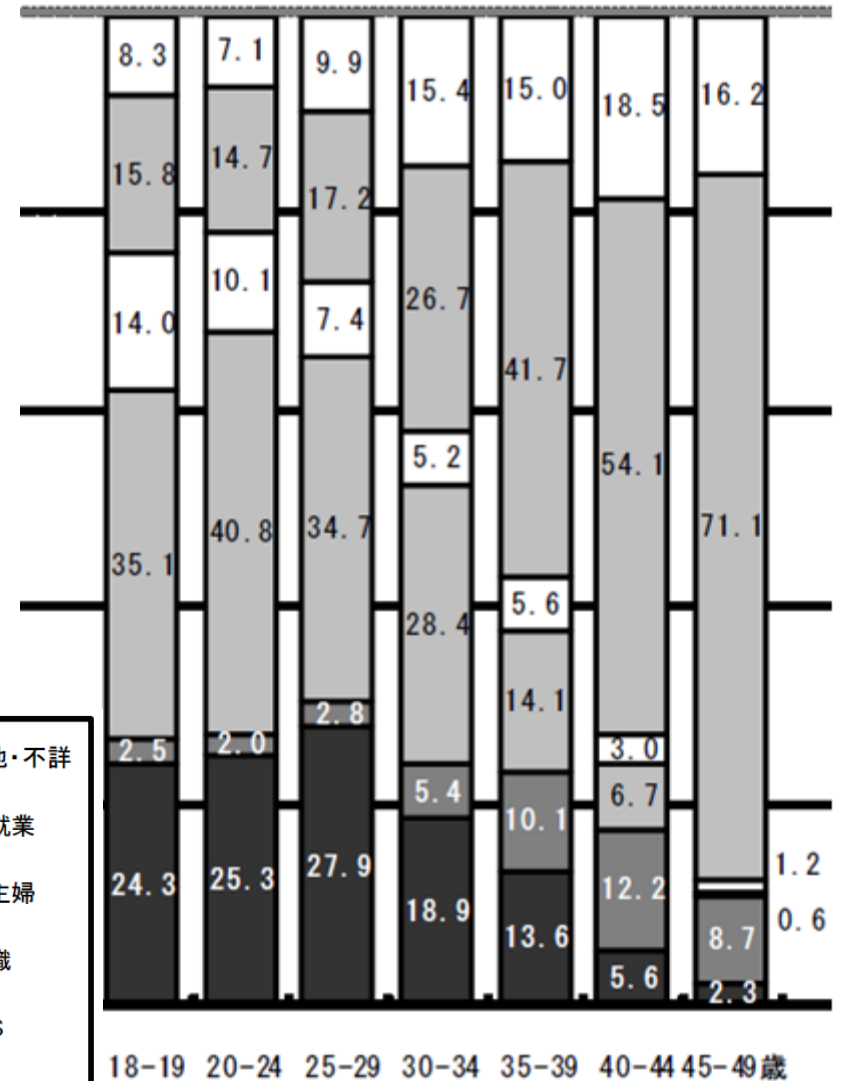
図2-8 2年生・「キャリア科目」履修者が思い描くライフコース

「第14回出生動向基本調査:独身者調査」にみる若年未婚女性のライフコース選択

【 女性の予定ライフコース 】



【 女性の予定ライフコース 】



■ 予定のライフコースとは
 実際になりそうだと考えるライフコース
■ 集計対象
 18～34歳の未婚者
■ 調査実施年 2010年

- その他・不詳
- 非婚就業
- 専業主婦
- 再就職
- DINKS
- 両立

「キャリア科目」の履修 と「ライフコース選択」

■ライフコース選択の契機は「キャリア科目の履修」が多い

表2-2 3年生がライフコースを描ききっかけ(M.A)

(単位:%)

カテゴリー名	1期生 2011年度 入学者 (N=427)	2期生 2012年度 入学者 (N=300)
キャリア科目	34.0	34.0
キャリア支援センターの就職活動支援講座	14.1	13.3
アルバイト	14.1	19.3
学科の専門科目	11.0	16.0
インターンシップ	7.3	6.7
キャリア科目以外の一般教養科目	5.9	2.0
学科が主催する卒業生の話を聞く会など	4.7	3.3
社会人メンター制度の活用	4.4	2.3
クラブ・サークル	2.6	1.0
ボランティア・サービスラーニング	0.7	1.0
キャリア支援センターの個人面談	0.7	1.0
光葉キャリア塾	0.7	0.0
全体	100.0	100.0

表2-3 2013年度入学者(第3期生)のライフコース選択の契機

(単位:%)

カテゴリー名	3期生・前期 履修後 N=334	3期生・後期 履修後 N=325
キャリア科目	56.0	41.5
学科の専門科目	16.2	25.2
アルバイト	9.9	12.3
社会人メンター制度の活用	6.9	8.0
キャリア科目以外の一般教養科目	4.2	4.6
キャリア支援センターの就職活動支援講座	2.7	1.2
学科が主催する卒業生の話を聞く会など	0.9	1.8
キャリア支援センターの個人面談	0.6	1.8
クラブ・サークル	1.2	1.5
ボランティア・サービスラーニング	0.6	0.9
インターンシップ	0.9	0.9
光葉キャリア塾	0.0	0.0
全体	100.0	100.0

■社会人メンターとの直接の対話は職業的自立への意識を喚起 メンタープログラムへの参加が「両立コース選択」に有意に影響

昭和女子大生の「キャリアデザイン」

<その特徴>

- 正規雇用の仕事・両立できる仕事、中小企業でも自分を生かせる職場を指向
- 大企業志向・管理職指向は低い。
- WLB指向が非常に強い
- 経済的自立志向は必ずしも高くない。
- 家庭生活における男女平等指向はそれほど高くない



職業的自立の達成には不安

■ 昭和女子大生のキャリアデザインは「優良企業ランキング」の「タイプⅣ：出産・育児を越えてしなやかに就業継続」企業に対応

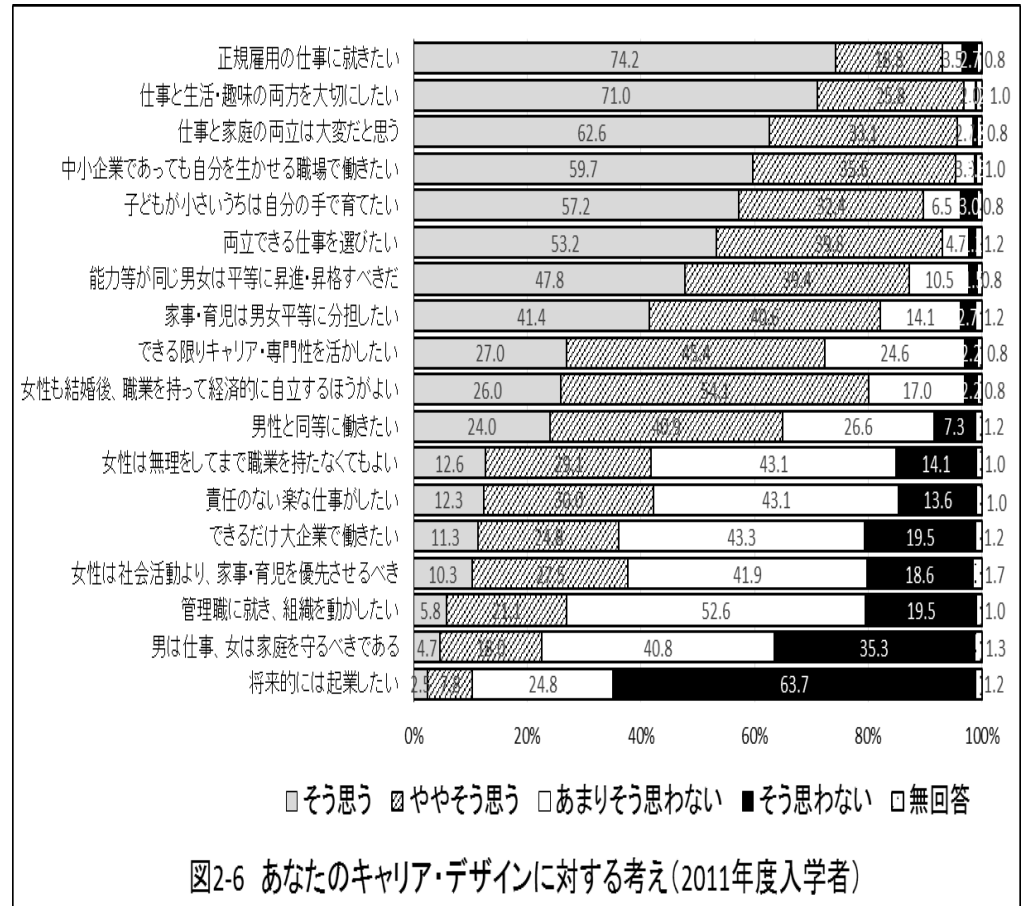


図2-6 あなたのキャリア・デザインに対する考え(2011年度入学者)

今後の課題

- 本学のキャリア教育・キャリア支援の実践は、女性の社会的・職業的自立を目指す「キャリアデザイン・ポリシー」に照らして、未だ道半ばである。今後、それぞれの領域(制度)が一層、洗練化されなければならない。
- 「キャリア科目」の履修、社会人メンター制度の利用、インターンシップ体験等からの気づきや学びがどのように統合されて、ライフコース選択やキャリアデザインの形成に作用し、社会的・職業的自立の方向へと向かわせるのか、そのプロセスの解明がさらに必要である。
- 男女共同参画社会を担う人材育成の観点から、キャリア教育・キャリア支援は、女性リーダーの育成にもっと積極的に取り組まなければならない。